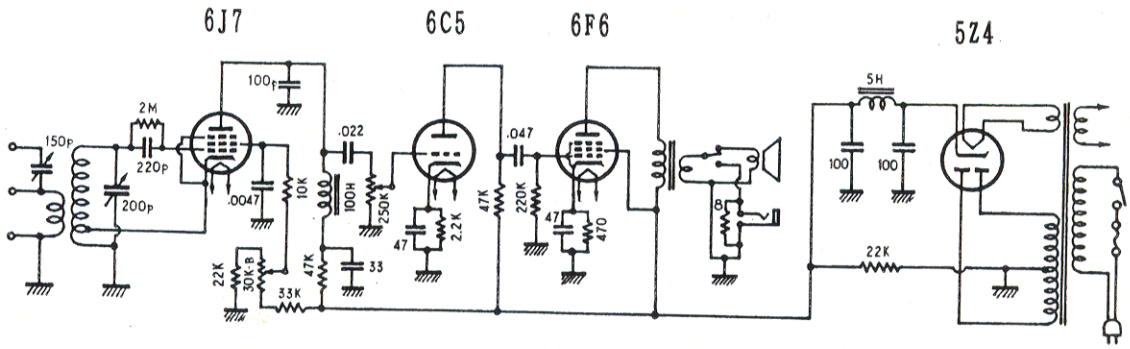
23. 拘りの 0-V-2

昭和 20 年代を回顧しつつ、出来るだけ当時の部品を集めてオートダイン 0-V-2 を作ってみました。

ジェイムス・ミレン氏の傑作 PWO (通称 500 度ダイアル) を中心に、米国ナショナル社製の部品に拘って組み立てましたので、同社の 1-10 (ワン・テン) 機を一回り小さくしたような外観になっています。

回路は標準的な 0-V-2, いわば並四ですから、取り立ててご説明するまでもありません。

コイルは昔ながらのプラグイン式で、球のラインアップはオリジナル 9 の中から 6J7, 6C5, 6F6 及び 5Z4 です。

レトロ調のセットの組み立ても一興かと思い、ご紹介しました。